けやきとお菊さん

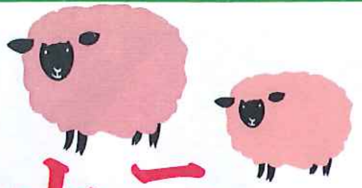
新春特別号

平成27年新年号

〒343-0827
埼玉県越谷市川柳町 3-60-1
社会福祉法人エンゼル福祉会　越谷なごみの郷
TEL　048-987-0753　FAX　048-987-0759
http://www.k-nagomi.or.jp

けやきとお菊さんの由来
地域とともに発展していけるようにとの願いを込めて
越谷市のシンボルである「けやき(木)と菊(花)」の名前をつけました。

2015年、開運方位＆カラー

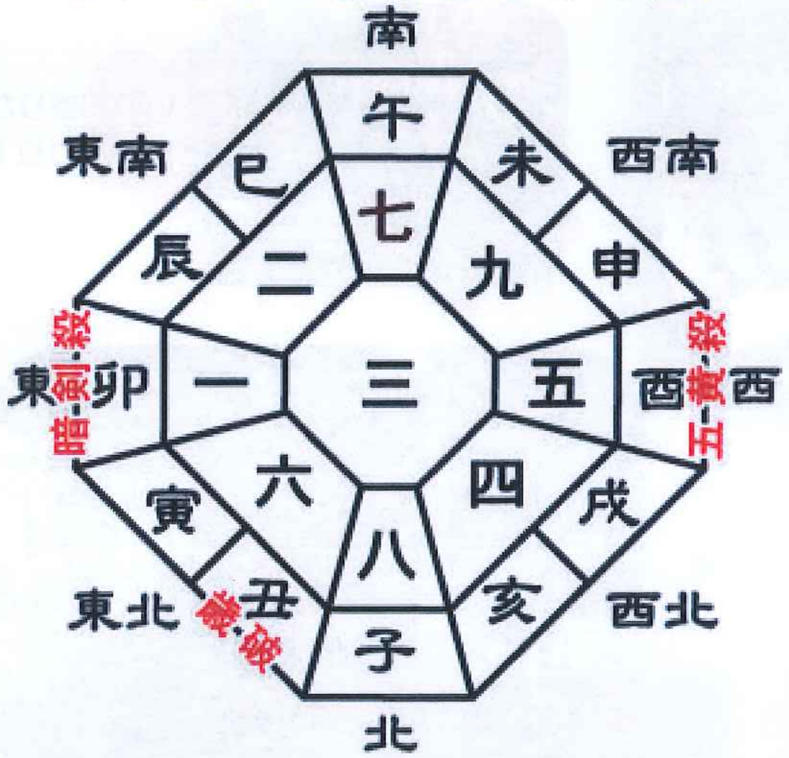


■2015年（平成27年）の吉方位と凶方位

年間を通じて、九星に限らず「凶方位」となるのは

2015年は「東」「西」「東北」（丑の方位）

２０１５年三碧木星年の年盤



凶方位は赤字で示された方角

●2015年の九星別の吉方位

一白水星、「南」「西北」
二黒土星、「南」「南西」「北」
三碧木星、「南西」「西北」
四緑木星、「南西」
五黄土星、「東南」「南」「南西」「北」
六白金星、「東南」「南」「北」
七赤金星、「東南」
八白土星、「東南」「南西」
九紫火星、「東南」「西北」「北」

■2015年の風水ラッキーカラーは３色

ゴールド…金運、仕事運、人気運、才能を高め、タイミングを良くする色。
更にチャンスに強いパワーがあります。カリスマ性を引き出しオーラを強める

グリーン…くじけそうになっても、再び蘇るパワーを与えてくれる色。心に効く色。
癒しや心の余裕をもたらす。信頼関係を深める

イエロー…先立つものはお金。金運、財運アップ。さらに創造力をもたす色。
富と名誉の象徴　金運・仕事運アップに効果

謹賀新年

施設長　八幡　雅冬

平成二十七年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より、越谷なごみの郷の運営に、ご支援を賜り心より御礼申し上げます。弊法人も皆様方のお力添えをもちまして、無事に新春を迎えることができました。

さて、昨年のわが国において振り返ってみると、“初”の快挙が多くあった年に思います。日本人“初”の国際宇宙ステーション船長の若田さんをはじめ、自動車産業では“初”の水素燃料自動車の販売、そしてスポーツ界からもフィギュアスケート羽生選手の金メダルや全米オープンテニス“初”の決勝進出を果たした錦織選手など、様々な分野で目覚ましい快挙や発展がありました。

そのような中、平成二十七年四月には介護報酬の見直しと共に、医療・介護一体改革に向けた制度改革の第一歩として「医療から介護へ」「施設から在宅へ」の方向を踏まえた改革の意向にあります。

また、社会保障の考え方としての「自助・互助・共助・公助」を基本とする旨の整理、それらを踏まえ、平成三十七年（２０３５年）を目標制度として見据えた「地域包括ケアシステム」の完成に向けた第一歩となる年です。自分で出来ることは自分で行うことを原則に、公的サービスを頼る前に、地域の互助の推進、その上での共助、それでも対応出来ない場合には公助という考え方からも、より一層の「連携」を築きあげていくことが重要になって参ります。

誰もが住み慣れた地域で、さまざまな生活上の困難や障害に直面しても、持てる力を最大限に生かしながら、自らの意思で暮らし続けることができる社会としていく為にも、様々な運営を見直し、進化させ、そこに新たな価値を生み出し、社会、国民、地域の期待に応えていける着実な発展を目指して参ります。

何卒、今後とも倍旧のお引き立てを賜りますよう心よりお願い申し上げますと共に、相変りませぬご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

本年も皆々様の益々のご発展を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

もちつき大会

お正月に向けて餅つき大会を行いました。
北風に震えながらも、餅つきが始まれば自然と体も温まり、いたるところから「どっこいしょ！それ！」の掛け声が…。
施設全員の健康を祈り、たくさんのお餅をつかせていただきました。

お雑煮やきなこ、あんこ餅にしました！

謹賀新年

あけましておめでとうございます。
本年も初詣からスタートです。
今年も皆様にとって幸多い年になることを
お祈り申し上げます。

今年は何をお願いしようかしら？

いいお参りが
出来たわね！

願いが叶いますように・・・

地域交流会

地域の皆様と一緒に交流会を行いました。
いろいろな種類のダンスを見せていただき、楽しい時間を過ごせました。

真夏の雰囲気を味わえました。。。

みんなでどっこいしょ～どっこいしょ！

健康の秘訣は何よりも運動です

いつまでもお元気で！

受け継ぐ

浦田　光雄

四国霊場第七十一番札所弥谷寺は、千三百年前、讃岐の国・弥谷山の岩の急斜面に築かれた古いお寺です。境内口から本堂までは急な坂で結ばれたいくつもの階段があり、合計五百四十段に達します。足の悪い人は到底登れないので、山上バスが走っているくらいです。

お遍路を続けていた私は、昨年秋、境内の入り口で、さぁこれから登るんだぞと、高さ五メートルぐらいの大きな案内板を眺め、山内の全容を頭に入れようとしていました。

そのとき突然、「お遍路さん」と呼びかけられました。振り返ると若い女性が立っています。長い髪を肩まで垂らし、パンタロンをはいた背が高い、二十代と思われるお嬢様という感じの人です。あたりに人影はまったくありません。いったいどこから現れたんだろう？一瞬、妖精かと思いました。が、そうではないようです。

「私は生まれも育ちも香川県です。親から、お遍路さんを見たらお接待するようにと言われています。」そう言って五百円玉を差し出します。予期せぬことだったので、驚きました。慌てて、納札をお礼に渡しました。納札とは、自分の氏名・大まかな住所・年齢・日付それに願意を記した細長い紙で、お寺の本堂と第師堂に納めるものです。お接待を受けた時はこの納札を差し上げるのが習わしです。

香川県は讃岐の国、弘法大師の生まれ故郷です。それ故、他の県よりお遍路に対する態度が温かいのでしょうか。いや、そうとは言えないようです。

香川県に限らず、四国では「お接待」といって、歩き遍路に様々なおもてなしをする美しき習わしが長く続いています。これまでにも、各地で、お金や飲み物、食べ物、手作りの小物などを頂きました。自費で遍路小屋を建て自由に使わせる人やグループもあります。遍路道を整備する方もいます。歩き疲れている遍路にとっては、大変大きな助けになります。

オリンピック招致で一躍有名になった「おもてなし」は、客人に対する心のこもった遇し方です。しかし、「お接待」を受ける人は客ではありません。縁もゆかりもない、ただの通りすがりで、恐らく一生に一回しか会わない人です。それにも拘わらずお接待をする、おもてなし以上かもしれません。

ところで、こういうお接待は全て年配の方からでした。弥谷寺に現れたような若い女性は初めてです。お接待に限らず、日本に長く続いている風俗・習慣などが、次第に忘れられ失われていく現象を私は心配していました。バレンタインも結構、ハロウィンもいいでしょう。クリスマスも楽しんでください。でも、日本固有の文化・伝統を代わりに失ってしまっては困ります。

しかし、今回、お接待という文化を若い世代に伝えていこうという親が居て、それを受け継ぐ若い人が居ることを知って、大変心強く思いました。

お正月といえば「お雑煮」！！
あなたの家ではどんなお雑煮を食べていますか？？

ということで、「**全国のお雑煮特集**」です！！

お雑煮の歴史・・・新年、神様に供えた餅を神棚からおろし、そのご利益を頂いたという説やもともと武家社会の料理だったものが庶民に普及したものです。現在の雑煮スタイルは室町時代の中ごろに始まったと言われています。

お餅の形と味付けをチェック！！

餅は？

角煮　角焼　丸煮　丸焼

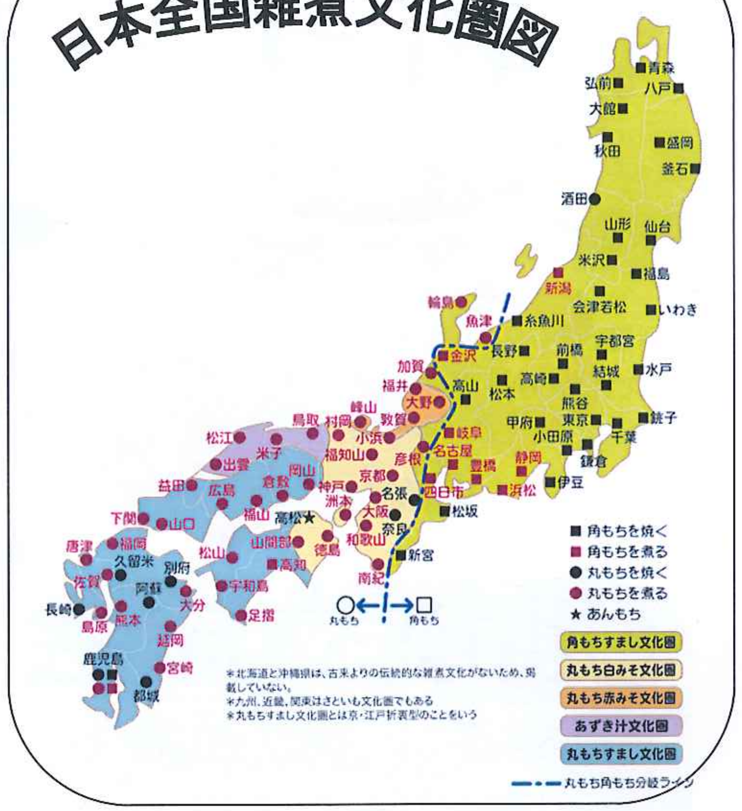
一般的に、東日本は焼いた角餅、西日本は焼かない丸餅と大別され、境となる富山・石川・岐阜・三重・和歌山県などでは両方の餅が混在している。関ヶ原の合戦の影響で、岐阜県関ケ原を境に丸派と角派が分かれたという説も。

味付けは？

しょうゆ　味噌　小豆汁

関西風のお雑煮といえば白味噌仕立てを連想するが、西日本でも近畿・福井・四国の東部以外はしょうゆ味が優勢。少数派では出雲地方や能登半島の一部などに小豆雑煮の地域がある。味噌味のお雑煮を関西でも赤味噌派・白味噌派に分かれる。

日本全国雑煮文化圏図



全国の珍しいお雑煮

岩手県　お雑煮くるみ餅
ワラビ・焼き豆腐
くるみダレなど

福井県　かぶら雑煮
かぶ・鶏肉など

島根県　海苔雑煮
海苔・鰹節・するめなど

長野県　ブリ雑煮
ブリ・大根・人参など

京都府　京雑煮
大根・里芋・頭芋など

徳島県　うちちがえ雑煮
豆腐・頭芋・大根など

身体拘束廃止委員会活動報告

「虐待はしてはいけない」、「虐待されたくない」と誰しもが思っていても、虐待を受ける人たちがいるという事実が、平成17年に「高齢者虐待防止法」というこの法律を成立させたのでしょう。
虐待とまでは、言いきれないような言動を「不適切な言動」と表現がされることがありますが、この言動の先に、精神的虐待へと繋がることがあるものです。
そこで、働く職員のケアについての悩みや疑問と同時に、「不適切な言動」とはどんな事なのか？また抱えこんでしまっているケアについて「どう応じていくべきか」研修を通じて取り組みました。

研修では、「共有していく事、個で悩まずチームで応じて行くこと」といった声が多く上がり、日頃ケアでの不安や手立てについて足踏みしていたものが、専門性をもった追求と、実践への導きを創りだすことが出来ました。
※次回の「人権擁護研修」は1月19日～28日の8日間予定しています。

編集後記

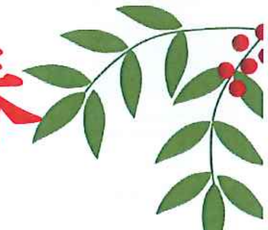
オリンピック招致から、改めて「おもてなし」という日本の言葉を聞くようになった昨今。私たち介護に携わる者にとっても「おもてなし」ということは、人間性の部分において深く関わる言葉だと思うのです。そんなことも含め、今回の浦田氏のコラムは、日本の良き習慣や風習をどう受け継いでいくのかとても考えさせられるものでした。高齢者を相手に、私たちは手を貸すことばかりではなく、教えられることも沢山あります。世代を通して「伝える」「伝授」を考えたいものです。

新年最初の広報紙となりましたが、今年も皆様にとって楽しみにして頂ける物を作っていきたいと思います。

お気軽に
お問い合わせください

越谷なごみの郷
越谷市川柳町 3-60-1
TEL　048-987-0753

迎春



越谷なごみの郷も
お正月飾りで賑やか
になっています！

越谷なごみの郷を
宜しくお願いいたします。